

演奏者プロフィール

第101回演奏会「別れ」の主題に寄せて 2004年10月13日(水)開演18時30分(開場18時)

国立ベルリン大聖堂合唱団・ベルリン芸術大学少年合唱団

国立ベルリン大聖堂合唱団の創立は、1465年、フリードリヒ二世(ブランデンブルク選帝侯)によって、大聖堂における礼拝音楽のために5名の少年歌手が選出されたことに遡る。1572年、宮廷管弦楽団および合唱団の設立にともない、少年歌手は12名増やされ第一次開花期を迎えた。19世紀には、メンデルスゾーン=バルトルディをはじめ多くの著名な作曲家を指揮者に迎え、国際的なレベルに発展。1918年、神聖ローマ帝国解体に伴い、合唱団は今日のベルリン芸術大学付属となった。第二次大戦後は、大聖堂は東ベルリンにあったが、合唱団は西側で活動。ベルリンの壁崩壊後の1993年、合唱団は再び大聖堂に戻った。礼拝時の聖歌合唱のみならず、定期的にコンサートも行い、更にドイツ国内はもとより、ヨーロッパ諸国、アメリカ、ロシアなどでも演奏旅行を行っている。2001年、新進気鋭の指揮者イエルカ氏がベルリン芸術大学の教授に就任することにより、ドイツの合唱コンクールで常に上位入賞をはたしてきた彼の指導のもと、合唱団は再び開花期を迎える。ヨーロッパ最優秀の合唱団の一つとして、各地で数多くの演奏会を行っている。

新CDとして、バーンスタイン作曲「ミサ曲」(ケント・ナガノ指揮、ドイツ交響楽団との共演)。また、日本でのテレビ放映予定もある。「国立ベルリン大聖堂合唱団ドキュメント(9月予定)」。「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団大晦日コンサート(サイモン・ラトル指揮)、C. オルフ作曲『カルミナ・ブランナ』に共演(12月、NHK生中継予定)」。

カイ=ウヴェ・イエルカ Kai-Uwe Jirka (指揮)

ハノーファ音楽大学にて音楽教育、教会音楽、さらに指揮とドイツ文学を専攻。同校卒業後、1999年から2001年まで、ニーダーザクセン州立ハノーファ・オペラ劇場において少年少女合唱の指揮者を勤めた。2001年にはハノーファ・オペラ劇場の総指揮者としてデビュー。それと同時にハノーファ音楽大学の非常勤講師として、オーケストラと合唱指揮の講座を担当した。2001年の秋には、国立ベルリン大聖堂合唱団の指揮者として迎えられるとともに、ベルリン芸術大学の教授として就任、最年少の教授の一人として教鞭を執っている。2003年にはドヴォルザークのスタバート・マーテルを指揮してベルリン・フィルハーモニー・ホールでのデビューを果たした(ベルリン・フィルハーモニー合唱団、ベルリン交響楽団)。

ミヒヤエル・ウツ Michael Utz (オルガン)

1973年生まれ、教会音楽、オーケストラ指揮、またオルガンをハノーファ、ベルリン、グローニングン(オランダ)で学ぶ。2003年、ウォルフガング・ツェーラーのもとでライブルク音楽大学国家演奏家コース(オルガン・ソリスト試験)を終了。オルガニストとしてドイツ、スウェーデン、デンマーク、オランダ、オーストリア、またタンザニアなどで演奏会を開催。ベルリン芸術大学交響楽団の指揮、同大学の非常勤講師なども務めた。2003年11月以来、ケルン近郊ブラウヴァイラの聖ニコラウス教会のカントール(オルガニスト兼合唱指揮者)を務める。



第102回演奏会「バッハ鍵盤音楽の楽しみ」 2004年11月25日(木)開演18時30分(開場18時)

松居 直美 (オルガン)

国立音楽大学オルガン科で故吉田実教授に師事。1979年同大学院在学中、「第2回日本オルガン・コンクール」で第1位を受賞。1982年西ドイツ国立ライブルク音楽大学に入学。ジグモント・サットマリー教授に師事。在学中の1983年「第21回ブダペスト国際音楽コンクール・オルガン部門」優勝。1985年「第34回ニュルンベルク国際オルガン・コンクール」優勝。以来ヨーロッパでも演奏、録音活動を続けている。1985年「最優等」で、ライブルク音楽大学国家演奏家コースを卒業、帰国。翌86年、ソニー・レコードよりデビュー・アルバムをリリース。本格的なコンサート活動にはいる。オルガンの新しい可能性を追求する一方、全国各地のコンサートホールでのリサイタル、主要オーケストラ、外来オーケストラとの共演も多い。その他、FM録音やラジオ、テレビ出演などその活動は多岐にわたる。95年にリリースされた「松居直美の世界」、98年のJ・S・バッハ作品集全3枚では、古典作品に対しての高い評価を得た。近年はオランダにも拠点を持ち、ヨーロッパでの活動の幅を広げている。2000年の日蘭400年記念事業、2001年のイギリスにおけるジャパン・イヤーの行事などにも参加。2001年秋、文化庁海外特別派遣としてオランダで研修。93年より所沢市民文化センターのアドバイザー、04年よりミューザ川崎のアドバイザー。日本キリスト教団小金井教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



寄附のお願い

■オルガン運営募金のお願い

東京大学教養学部のパイプオルガンは、1977年に森ビル社長であった故森泰吉郎氏のご寄贈によって、緑に囲まれた900番教室(講堂)に設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、東大の学生はもとより広く市民の方々にも愛されております。

オルガン委員会では、この公開演奏会の開催費用にあてるための寄付を広く募っております。お志は、オルガン募金世話人(=オルガン委員)にお渡し頂くか、右記の銀行に振り込み頂ければ幸いです。振り込み証明書のコピーを世話人代表にお送り頂ければ、領収書をお送り致します。よろしくお願ひいたします。

■募金要項

1.金額1口1,000円(これ以下でも構いません。多い方も歓迎)

2.振込先:下記のいずれかの銀行の普通預金口座

口座名義:各銀行共通

東大教養学部オルガン運営募金

世話人代表 川中子義勝(かわなごよしかつ)

口座番号:UFJ銀行渋谷支店 口座番号 5887975

東京三菱銀行渋谷支店 口座番号 4741082

みずほ銀行渋谷支店 口座番号 934287

横浜銀行下北沢支店 口座番号 0059803

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会
<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> tel:03-5454-6139